

令和5年度 第3回役員会議 議事録

令和6年1月7日
法輪寺

参加者：森川英幸・小泉俊司・東崎栄一・渡辺義則・海野高敬
書記：法輪寺スタッフ
欠席者：福田一彦・飯田千鶴子・長沼芳江

●【報告事項】

・令和6年夏開業予定の合祀事業の報告

＞令和6年1月9日 着工予定

・年会費納入方法変更に関する報告

＞年会費振込についての反響（本書末尾に記載）

＞年会費滞納者に関する対応について

＞応答がない方、住所不明の方もいる。

該当墓地に告示文を掲載する予定

＞滞納者には督促状及び勧告文を送付。

＞滞納者全体の3割の者より支払いなど行われた。

・その他

＞人事労務について

＞住職含め一部従業員は社会保険に加入しました。

＞毎週水曜開催のヨガ教室2年間実施し、11月末に終了

●【審議事業①】

・令和6年度活動計画

＞承認

・合祀事業①

＞4月末に竣工・8月開業予定

＞業者と順次打ち合わせを進める。

＞「寺院規則」の修正

＞「寺院規則」の説明・修正する理由を説明

＞年会費滞納者 墓地に告示文を掲載

＞HPに掲載。墓地に告示文を貼る。

＞護持会会計報告

＞令和6年6月開催予定の役員会議にて行う

＞御朱印・花手水など観光事業

＞御朱印の売上高3,000万円を目標とし、コスト削減を目指す。

＞年中行事について

- ＞住職が「法要」を行っている最中に受付が混雑する
 - ＞緩和策として、年会費納入方法変更・法要開催日を増やすことを継続する。
- ＞以前、檀信徒と「炊き出し」を行っていた。この様に檀信徒と寺との距離を縮める場を設けたい
 - ＞過去の例（炊き出し・バスでの団体参拝）
 - ＞他寺院の例（懇親会・ゴルフコンペ）
 - ＞令和6年度役員会議を通して具体案を模索する。
 - ＞まずは年中行事の際に簡易的な取り組みを試みる案も頂いた。

●【審議事業②】

＞今後の改修事業予定

- ＞事務所改装、、、令和6年度中に時期を決定したい。
- ＞山門撤去もしくは修繕、、、山門の傾斜問題→安全性を考慮し方向感を決めたい。
 - ＞会議参加者と山門の傾斜を確認。業者に概算見積もりを算出を依頼し、是正の有無を協議する。
 - ＞山門を残したいとの案もあった。

＞年会費滞納者への対応

- ＞退檀を望むものには手続きを完了させることを目標とする。
- ＞墓地撤去は経費削減の為にまとめて行う。→要計画。（3～5年計画）
- ＞西側墓地4段目に墓石建立時に費用削減につながる見込みがある。

・令和6年度「布施一覧表」について

- ＞墓石修繕のリスクがあるため石材店の作業の監督料を追加。
 - ＞承認。

●【その他】

・令和6年度以降法要を行った方に法輪寺ファイルを順次配布する（時間の関係で割愛）

＞法輪寺ファイルについて

- ＞規約類/退檀案内/布施一覧表/代表者・住所変更届/石材店依頼手配などの様式
- ＞他に必要なものはあるか？（終活に関する資料など）

・護持会役員の方への待遇を提案

- ＞案：法輪寺より任期満了した役員に対して謝礼を贈呈したい
- ＞案：お亡くなりの際に5万～20万（任期に応じて）香典を包む
 - ＞檀信徒の立場として金品を寺から受理するのは不適切と否認。
- ＞以前徴収していた護持会役員会の会費の取り扱いについて
 - ＞令和6年度役員会議を通して協議。

・「年会費の仕様変更」により見えた檀家問題

※時間の関係で十分な説明ができなかった為、次回の会議であらためて説明～審議する。

- ①高齢化問題＝墓じまいの費用不足＝寺に対して消極的⇒今後増加の見込みが高い。
- ②檀家制度の将来性は子供・親戚が多い場合は問題ないが、基本薄いものである。
　　>今後の寺の在り方を検討する必要がある。
- ③世代間における多様性⇒子供がおり世代交代できているご家庭からはネットバンクの入金を受ける。
　　⇒発送費用は10万円を超えた（払込表作成+送料含め）
- ④払込表について　⇒名無しの振り込みも散見し、こちらの配慮が欠けていることを痛感した。その一方でスタッフ側のミスも少なく大きなトラブルはなかった。
- ⑤檀家の反応　⇒クレームも多少あったが、今回の取り組みに対して理解を示す檀家も多かった。